

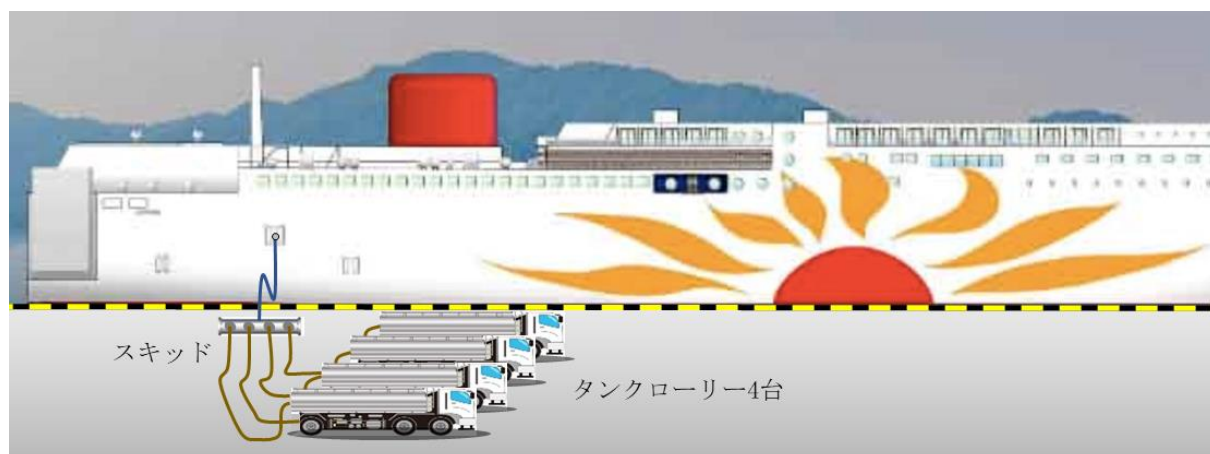
2023年1月6日
株式会社商船三井
商船三井フェリー株式会社
石油資源開発株式会社
北海道ガス株式会社

大洗～苫小牧航路 新造 LNG フェリー2 隻への
LNG 燃料供給に関する基本協定書を締結
～船舶燃料の低炭素化に向け、フェリーの LNG 燃料化をさらに推進～

株式会社商船三井（以下、「商船三井」）、石油資源開発株式会社（以下、「JAPEX」）および北海道ガス株式会社（以下、「北海道ガス」）は、商船三井のグループ会社である商船三井フェリー株式会社が運航する大洗～苫小牧航路の新造 LNG 燃料フェリー2 隻（※1）（以下、「本船」）に対して、各港における LNG 燃料供給に関する基本協定書を締結しました。

LNG 燃料の供給開始は、本船が就航する 2025 年を予定しており、茨城県大洗港では JAPEX が、北海道苫小牧港では北海道ガスが、それぞれ本船に Truck to Ship 方式（※2）で LNG 燃料を供給します。供給に際してはスキッドと呼ばれる導管装置を用いて、本船とタンクローリー4 台を同時に接続します。これにより、限られた停泊時間に必要十分な LNG 燃料を供給することが可能となります。

LNG 燃料は、従来の燃料油に比べて、二酸化炭素（CO₂）の排出量を約 25%削減する効果が見込め、現時点で船舶燃料の低炭素化を実現する有効な手段です。4 社は国内における LNG 燃料の普及推進をリードし、環境負荷の低減に貢献していきます。



タンクローリー4 台とスキッドによる LNG 燃料供給のイメージ（※3）

(※1) 以下関連プレスリリースをご参照ください。

2022年2月17日付 商船三井、商船三井フェリーほかプレスリリース「[最新鋭 LNG 燃料フェリー2隻の建造を決定 ～風を活かすスーパーECO フェリー誕生 加速するモーターシフトへの対応～](#)」

(※2) 船舶への LNG 供給方式の一つ。停泊中の本船に対して、岸壁に配置したタンクローリーから LNG を供給する方式。

(※3) 本イメージ図における LNG タンクの設置場所、スキッド形状等は本船と異なります。

【会社概要】

会社名	株式会社商船三井	商船三井フェリー株式会社	石油資源開発株式会社	北海道ガス株式会社
代表取締役社長	橋本剛	尾本直俊	藤田昌宏	川村智郷
本社所在地	東京都港区 虎ノ門2丁目1番1号	東京都千代田区 外神田1丁目18番13号	東京都千代田区 丸の内1丁目7番12号	北海道札幌市東区 北7条東2丁目1番1号

以 上